



南砂みずべ かわらばん

2011・9月

通巻 63 号



同じものを見つめて



皆さんはザリガニ釣りをしたことがあるでしょうか。最近のカブトムシの人気に少々押され気味のザリガニですが、保育園の年長組を担当していた時、「ざりがにのおうさま まっかちゃん」という創作童話に出会いました。

「はちのすほいくえんの ちかくに、まっかちゃんぬまがあります。こどもたちは ここでざりがにつりを するのが だいすきです。みんなは ざりがにのことを まっかちゃんとよんでいるので、このぬまも まっかちゃんぬまなのです」こんな語りで始まるお話しに、こども達は夢中になり、毎日のように「読んで 読んで」とリクエストしてきました。そして自分達も、まっかちゃんを釣りに行こうと、釣竿を作り、餌は本当に煮干でいいのか等、研究しはじめたのです。こども達から話しを聞いたお父さんが、お迎えの時にいろいろと教えてくれて、餌はスルメに決まりました。翌日からこども達のカバンから、いい匂いがするではありませんか。そうです。家からスルメを持って登園する子がでてきたのです。江東区でザリガニは釣れるのか?・・・それでも、ここまできたら実行あるのみです。清澄公園・猿江公園・福富川公園等々、流れのある公園を、まっかちゃんを求めて歩きました。こども達は、手作りの竿とバケツを持って、意気揚々と出かけます。そして帰り道は「残念だったね」「まっかちゃんは、そんなに簡単には見つからないのさ」と、残ったスルメをみんなでしゃぶりながら帰ってくるのです。他の公園に遊びに行った時も竿にちょうど良さそうな枝を拾ってくるし、上手く作れない子には教えてあげたりと、こども達の気持ちは、まっかちゃん一筋でまともっていました。ついにお隣の中央区にある浜町公園まで足をのばしました。石が重なり合った、隙間に動く、大きなハサミを見つけたのです。「そーっと やれよ」「まだまだ、もっとくいついてからだ」と、こども達も重なるようにして、慎重に餌を隙間に入れます。時間のすぎるのも忘れて、辛抱強く。ついには釣り上げた、まっかちゃんに大歓声が上がります。もうとっくにお昼を過ぎていましたが、誰もおなかが空かなかったようです。同じものを見つめて、心が通い合う体験。こども達からもらった大切なおくりものです。 依田幸子



今月の子育ての詩 (うた)

和光堂「子育て川柳」より

- ・ 好きなのは 調子外れの パパの歌 ♪♪
- ・ おむつ替え 夫とこども 格闘技



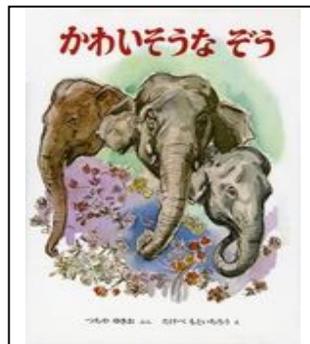
今月のわたしのお気に入り

“かわいそうな ぞう”

作 土家 由岐雄

絵: 武部 本一郎

出版社: 金の星社



上野動物園のにぎやかなひろばから少し離れたところに一つの石のお墓があります。動物園で死んだ動物のお墓です。

こどもたちの未来に本当の平和を得るために、語り伝えたい戦争の姿です。爆弾が雨のようにふりおとされてきたその時、ジョン・トンキー・ワンリーの3頭のぞうがいました…。(依田)



ご協力ありがとうございました

6月17日に行われた南砂みずべ分かち合いバザーの収益金と募金の合計が¥110600になりました。先に実行委員会で話し合いをした通り、東日本大震災で被災した子どもたちのために役立ててもらおうということで、あしなが育英会に寄付の申し出をしました。あしなが育英会によると今回の震災で孤児となった子どもたちが暮らす家を作る資金が不足しているということでしたので、「あしなが東北レインボーハウス建設募金」に全額を寄付しました。子どもたちの未来が少しでも明るくなるといいですね。皆様のご協力を心より感謝します。



この度、ひろばスタッフの小宮梨恵子が産休に入り、

かわって田中那奈が新しく仲間入りしました。どうぞよろしくお願いします。

南砂みずべで働かせていただき、たくさんの親子に出会い、遊んだり、お話をさせてもらいました。その中で、年齢や性別などによって多少の違いはあれ、我が子の成長を願うお母さん方の思いの強さを、日々感じ、学ばせていただきました。私は8月12日より産休に入らせていただいています。みずべでの経験を活かし、初めての出産と育児に励みたいと思っています。みずべで出会ったすべての皆さんに、感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。(小宮)

はじめまして☆7月から仲間入りさせていただきます。ただいた田中那奈と申します。趣味は手芸…と言いたいところですが、へたっぴなのでmamas cottonさんの作品に感激しています。私もいつか…!! まだまだ未熟者ですが、みなさんと一緒に成長していきたいと思っています。

よろしくお願いします (田中(*^_^*))

江東区南砂子ども家庭支援センター “みずべ”

〒136-0076 江東区南砂3-14-1-101 (指定管理者: 社会福祉法人雲柱社)

TEL03-5617-7772 FAX03-5617-7773 (児童虐待ホットライン TEL03-3646-5481)

Email: minamisunakosodate@ka.baynet.ne.jp URL: <http://www.kotomizube.jp>